

第4種 抜海漁港 (北海道稚内市)

抜海地域マリンビジョン策定

ばっかい 抜海地区特定漁港漁場整備事業計画

宗谷北部圏域
生産拠点



現状と課題

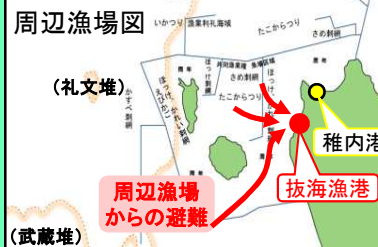
- ・漂砂による航路水深不足から出入港に支障を来しており、地元漁船の漁業機会を喪失している。また、武蔵堆等で操業する外来漁船等からの避難要請に对应できない状況にある。
- ・飛砂等により蓄養水域が埋没するなど水域環境が悪化しており、蓄養施設の利用に支障が生じている。

港 勢 (R1港勢調査)

登録漁船:40隻
利用漁船:44隻
(内、外来漁船:15隻)
属地陸揚量:374トン
属地陸揚金額:2.8億円
主な魚種:サケ類、タコ類
組合員数:25人

◎抜海漁港の役割

- ・武蔵堆等の好漁場を有する日本海北部海域におけるサケ定置網、小型底びき網等の地域沿岸漁業の生産拠点
- ・荒天時はもとより、流水の影響を回避可能な避難拠点



主 要 対 策



主な整備方針

- ・港口の擾乱や航路の埋没を解消し、漁船出入港時の安全確保を図るため、防波堤及び航路等の整備を行う。これにより、漁業機会の確保とともに荒天時にも安全な避難利用を可能とする。
- ・飛砂による水域埋没等を防止し、蓄養水域等の環境悪化を回避するため、防砂柵等の整備を行う。

基本事項

全体事業費:93.6億円
事業期間:H14~R4

主要な対策①: 漂砂対策

堆砂の進行による港内の状況



堆砂による港口水深の変化に伴う波高増大



防波堤等の整備による静穏度確保
浚渫による航路等の水深確保

主要な対策②: 飛砂対策



蓄養水域への飛砂侵入状況

飛砂侵入対策(防砂柵)



蓄養施設の
利用効率向上